

今日のトピック 米国の債券市場（2016年6月）

社債への資金流入が継続し、利回りは低位で推移しよう

ポイント1 国債利回りは低下基調

利上げ先送り観測が強まる

■ 5月の米国10年国債利回りは、低下して始まりましたが、中旬から月末にかけて上昇しました。4月に開催された連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録や地区連銀総裁の発言がタカ派的だったこと、小売売上高などの景気指標が上振れしたことなどによるものです。結局、5月末の10年国債利回りは、前月末比ほぼ横ばいの1.85%となりました。

■ しかし、6月に入ると、利回りは再び低下に転じました。月初に公表された5月の雇用統計が低調な内容だったことから、利上げの先送り観測が強まったためです。

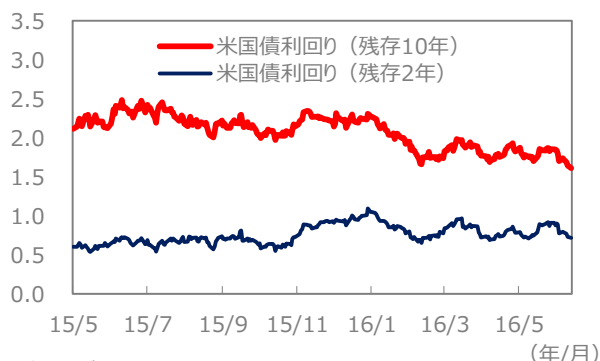
ポイント2 社債の需給はともに旺盛

社債スプレッドはやや拡大

■ 米証券業金融市場協会の統計によれば、5月の社債発行額は2,058億ドル、前月比74.5%増と引き続き活況でした。

■ 米社債スプレッド（国債と社債の利回り差）は、小幅に拡大しました。記録的な発行が続き、社債の需給が緩んだためです。ただし、需要も旺盛なため、社債金利は引き続き落ち着いた推移となっています。

(%) 米10年国債と2年国債の利回り



米国債の利回りと

米社債スプレッド（国債との利回り差）(%)



今後の展開

社債利回りは低位で推移しよう

■ 5月の雇用統計は低調でしたが、それを除く経済指標は、ISM景況感指数や失業保険申請件数など、概ね堅調に推移しています。こうしたことから判断すると、米国経済は緩やかながらも拡大基調を維持していると考えられます。

■ また、インフレが低い水準で安定しているため、利上げは見込まれますが、緩やかなペースとなる見通しです。従って国債利回りは落ち着いた推移が予想されます。国債よりも利回りの高い社債への資金流入は継続する見通しです。

ここも チェック!

2016年6月6日 米国の雇用統計（2016年5月）

2016年6月3日 緩やかな利上げを示唆「ページブック」（米国）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。